

## 災害危険度5 地域への重点的な施策を

都の木造密集地域不燃化プロジェクトとして荒川区の半分程度が指定されることになり、出張相談所なども取り組めることになる。広い地域なので、とりわけ災害危険度5の地域への重点的な取り組みをすすめてはどうか。

区：危険度4・5の地域なので全体的に取り組む。

建物倒壊・火災に加え、災害時活動困難度を考慮した総合危険度5の地域

荒川2・3・4・6、西尾久2・5・6、東尾久1・2・6、町屋2・3・4、南千住1・5丁目

## 倒壊家屋等からの救出のための機材配置を確実に

阪神大震災の時、近隣住民に救出された人々が80%といわれる。警察や消防署に「パールやのこぎり等機材がない」という訴えが数多く寄せられたという。荒川区では現在レスキュー隊の町会結成率は50%、結成を促す支援を強めると共に、結成されていなくても、機材は備えておくよう、町会に確認する作業が必要ではないか。

区：レスキュー隊の結成を目指したい。また、東京都に消防団への機材購入予算を要望した。



## 日暮里の保育園待機児 5年後には450人への対応を

マンション建設が盛んな日暮里地域の待機児対策を着実に行うべきだ。駐車場の意向調査など不動産業者への協力を求めること、空き室の多い区民住宅に小規模保育所をつくることや、マンション建設時の事前相談を戸数100戸から50戸に引き下げることにも必要ではないか。

区：不動産業者と連携を図っていく。マンション建設時の事前相談は庁内調整が必要である。

## 災害時避難所用段ボールベッド供給のための協定を

これまでの避難所はベッドがなく、エコノミークラス症候群を予防する手段として簡易ベッドの導入が求められてきた。現在、段ボール会社と事前に協定を結んでおく自治体が増加している。荒川区でも是非、お願いしたい。

区：検討したい。

## 性同一性障害への配慮を

心と体の性が一致しない「性同一性障害」と診断された松江市の男性の訴えがきっかけとなり、健康保険証の裏面に性別を記載してもよいことになった。区でも、そういう要望を出しやすい処遇を心がけるべきではないか。

区：窓口にチラシを置くなど、受け入れに配慮したい。

## 認証保育園と認可保育園の格差に配慮した交流を

認証保育園はプールや園庭がなく、認可保育園との格差が大きい。近くの認可保育園と交流して、少しでも格差是正に努めてほしい。

区：交流を実施していきたい。



## 古布回収の地域拡大を：リサイクル品目の拡大を

モデル地域を指定して古布回収が始まってからの動きが遅い。一戸建て地域よりマンションの方が回収率がいいので、他地域でも早く始めたらどうか。

区：今年度から日暮里駅前高層マンションでも始めた。今後広げていく。